

小山市事務事業評価シート

令和4年度版

No. 21

1. 基本情報				
<1> 事業・業務名	小山総合公園整備事業		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	② 事業の範囲や経費等について、市の裁量の余地がある事業		<4> 継続業務・新規業務の別	継続業務
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 魅力ある自然環境を守り 伝統を継承するまちづくり	<6> 担当部(局)	都市整備部
	中項目	5-2 やすらぎと潤いのあるまち	<7> 担当所属	公園緑地課
	小項目	5-2-1 公園・緑地	<8> 担当係等	公園整備係
	施策	都市基幹公園の再整備		
<9> 根拠法令・計画等	都市公園法		<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	8 款 4 項 6 目
<13> 実施期間	平成30年度～令和10年度		<14> 全体事業費	350,000 千円
<15> 実施手法	全部委託		「その他」の場合 ()	

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要
小山総合公園は、多くの市民に幅広く利用されている一方で、施設の老朽化が進んでいることから、各施設の改修、更新工事等の再整備を行う。

目的
<17> 事業・業務の目的
公園利用者の安心・安全な施設利用を目的とする。
<18> 事業・業務の対象
公園内の遊戯施設、休憩施設、便益施設、管理施設、修景施設等

<19> 令和3年度の活動内容
管理棟や駐車場の改修工事を実施した。

手段	活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	計画
	調査・設計業務委託	業務	1	0	0	0	1	1	
	指標とした理由	事業の目的を達成するために必要な手段であるため。							
	改修工事	工事	2	0	3	3	0	1	
	指標とした理由	事業の目的を達成するために必要な手段であるため。							

<21> 事業・業務の成果
事業の目的のため、工事により改修された施設

成果	成果指標 (活動した結果得られた成果の量や実績)	指標名	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
				計画	実績	計画	実績	計画	計画
	改修された施設	箇所	2	0	2	2	0	1	
	活動指標との関係や成果指標とした理由	実際に工事を行い改修されたことにより、事業の目的達成に対する重要な要因となっているため。							
	活動指標との関係や成果指標とした理由								

資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度
					計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	計画(予算)
		事業費等		千円	8,822	0	8,122	7,580	4,322	12,322
		財源内訳	国・県補助金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
		一般財源		千円	6,500	0	5,800	5,258	2,000	10,000
上記の主な用途		設計等の業務委託、施設等の改修工事								
人件費		千円	2,322	0	2,322	2,322	2,322	2,322		
	正職員	千円	7,737 × 0.3	7,737 × 0.0	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3	7,737 × 0.3		
	他の職員	千円	×	×	×	×	×	×		

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である
		理由	市民等の公園利用者が安全に公園施設を利用するには、必ず実施が必要となる事業であるため。
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である
		理由	公園管理者である市が、公園利用者が安全に利用できるよう、施設の改修等を行うのは必要であるため。
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある
	理由	市民からの施設改修の意見・要望等はある。	
	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1. 妥当である	
	理由	公園管理者である市が、公園利用者が安全に利用できるよう、施設の改修等を行うのは必要であるため。	
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある
		理由	毎年、少しずつ工事を実施するのは円滑な成果の向上が遅くなるため。
	<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか?	1. 大きい	
	理由	個別施策に位置付けられており、公園利用者の利便の向上が図られるため。	
効率性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある	
	理由	大規模な更新を補助事業で行い、その後の管理は単独費で行うこととしたい。	
公平性	<31> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	4. 該当しない	
	理由	公園であることから、負担を求める受益者は存在しないため。	
<32> 総合評価	2. 改善の余地はある	理由	これまでは、市単独の事業費による維持管理がメインとなる小規模な改修工事であったが、公園整備後相当な期間が経過しているため、今後は計画を見直し、補助事業により規模を大きくした施設の再整備を実施する。

4. Action - 改善 -

<33> 事業の課題
事業の改善点
今後は、遊戯施設、管理施設、修景施設等の改修工事を予定し、また、工事の規模が大きくなることから、国の補助事業の活用など予算の確保について検討が必要となる。

5 Plan - 計画 -

事業の方向性	<34> 1次評価	所属長	1. 拡大	理由	憩いの場や遊びの場等として、市民等が安全・安心して総合公園を利用するには、老朽化した施設の改修等が急務である。また、市民ニーズに対応した公園施設の再整備も必要である。それらの再整備を効率的かつ効果的に実施するには、国の補助事業を活用した再整備が必要と考えるため。
	<35> 2次評価	所管部長	1. 拡大	理由	総合公園では、公園のストック効果を向上させ、地域のコミュニティ活動の拠点となる場の提供や、市民参画の場を提供すること等を目的とした公園活用事業を実施しており、民間事業者により月1回程度キッチンカーやファーマーズマーケット等が出店されている。公園のストック効果を更に高めるには、公園活用事業と相互に公園施設の再整備を行うことが効果的であると考えられるため。
	<36> 実施計画・今後の方針	令和6年度以降、国の補助事業を導入し再整備のための工事を実施していく。			
事業の計画	<37> 活動・成果目標	再整備の工事内容としては、大型複合遊具の更新や園路等のバリアフリー、樹木の保全・健全化などを実施することにより、目的を達成することができる。			